

図書館 だより

発行 春日井市図書館

TEL 0568-85-6800

テーマは
出発

2015年 春号

色とりどりの花が咲き乱れ見慣れた街の風景も新鮮に映ります。この時期に新たな生活（入学・就職）を開始する人、心機一転新しいことに挑戦する人など様々です。そこで、今回は「出発」をテーマに田舎への移住・定年後の生活・人類のはるかな旅・天職を探す・気持ちを伝える贈り物などの視点から、人間の持つ力と可能性を感じさせてくれるオススメの資料（本・ビデオ）を集めてみました。

『好奇心ガール、いま 97 歳』 ささもとつねこ 笹本恒子/著 小学館 740.2/コ/11

26 歳で初の女性報道写真家になり、小休止のあと、71 歳で再出発。今年で 100 歳！（今も現役です）になる作者のエッセイです。出発というと、若者の言葉だと思いがちですが、決してそんなことはない。いくつであっても魅力的な人生は送れるのだと思わせてくれます。ぜひ、一度手にとって見てください。作者が撮影した素晴らしい写真も必見です！



『おひとりさま女子の田舎移住計画』

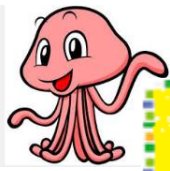
かしわざたまき 柏木珠希/著 朝日新聞出版 611.9/オ/14

都会でバリバリ働いていたシティガールの著者。ある日、都会の喧騒が嫌になり、片田舎で暮らそうと思いつく。というストーリーです。著者が実際に暮らしているので、アドバイスがとても現実的で勉強になります。どんな土地を選べばいいか・家の探し方・日常生活について・田舎での恋人の見つけ方・・・ナドナド。実際に住むつもりはなくても「自分がこんな風に住んだらどうだろうか」と想像すると楽しいですよ。

『定年がやってくる——妻の本音と夫の心得』 あおき 青木るえか/著 筑摩書房 367.3/テ/14 **東部**

“定年”というのも、新しい出発の節目だと思います。夫婦として、あるいは個人として・・・それまでとは大きくライフスタイルが変化していく中でどのように考えるのか。著書は女性なので、女として妻としての視点から“定年”について語っています。老後を、楽しく迎えるためにこんな本はどうでしょうか。





人類の偉大な旅への出発

「出発」にもいろいろあります。遥かな過去の人類の壮大な旅や
楽しい夢の旅にあなたの想像力を働かせてみませんか

『ミッション・トゥ・マーズ』 火星移住大作戦 バズ・オールドリン/著
よしだ みちよ
吉田 三知世/訳 エクスナレッジ 445.3/ミ/14

宇宙飛行士は2035年までに火星に到達できるだろうか？ 地球、月、
火星の衛星フォボスが内太陽系を運行する旅客で賑わうハブになるのか？
世界初の月面歩行をした宇宙飛行士が、未来の宇宙旅行と火星入植計画を
語ります。本物の元宇宙飛行士と共に火星への旅を語って見ませんか。



『夢の旅』 たむら しげる/著 静山社 F/外/14

満月の輝く夜、博士とロボットは出発した。クジラ潜水艇、カタツムリ・タクシー、羽ば
たき式人力飛行機、物質転送装置、月や小惑星に飛び乗り、ふたりが行く先
は…。15の世界を巡る、愉快で切なくて愛おしい旅。あなたもこの本で夢
の旅にいざ出発！



NHKスペシャル「日本人」プロジェクト／編 日本放送出版協会
約2万年前に始まった我々日本人の祖先の偉大な旅立ち。おおいなる
旅を経験してください。ビデオ（VHS）シリーズもあります。



『日本人はるかな旅 1 マンモスハンター、シベリアからの旅立ち』 210.2/ニ/01-1
約2万年前、極寒のシベリアから南下した「原日本人」は、温暖化による大型動物の絶滅
の危機に直面。が、土器を発明し、食料を得る術を知った祖先たちは生き延びていく…。

『日本人はるかな旅 2 巨大噴火に消えた黒潮の民』 210.2/ニ/01-2
約9500年前、南九州一帯には高度な文明を持つ人々が暮らしていたが、
約6300年前の火山大噴火によって彼らは忽然と姿を消してしまう…。



『日本人はるかな旅 3 海が育てた森の王国』 210.2/ニ/01-3
約六千年前、現在よりも温暖な気候で列島各地の森林開発が進み、集落が爆発的に増えた。
だがニッポンの原形とも言える縄文文化は、約四千年前の寒冷化によって衰退していく…。

『日本人はるかな旅 4 イネ、知られざる1万年の旅』 210.2/ニ/02-4
日本人にとってかけがえのない存在であるイネ。縄文時代前期まで立ち戻り、東南アジア
や中国南部の稲作地を訪ね、原稲作民の起源と「イネの民」の日本への渡来について探る。

『日本人はるかな旅 5 そして“日本人”が生まれた』 210.2/ニ/02-5

縄文人は約2500年前に大陸から海を越えてやってきた渡来人たちとの対立・
融合を繰り返し、先進文化を取り込みながら生きのびてゆく。
シリーズ完結篇。



たびだち 出発



出発といえば前に進むイメージがありますね。でも、出発の前に忘れてはいけないこと、避けられないことがあるのではないのでしょうか。あまり意識されない「その前」を噛みしめてみませんか？

＜ 門出 ＞ の前に

『卒業するわたしたち』 かとう ちえ 加藤 千恵/著 小学館 F/カト/12

さまざまなものからの、多彩な形で「卒業」が描かれています。卒業するということはそこで終わるのではなく、新しい世界が見えるという事なのかと感じさせる、まぶしくて少し切ない13の物語。著者の加藤千恵さんが歌人なので各章の冒頭に短歌が挿入されています。

- 卒業は学校だけのものじゃない。



＜ 旅行へのお発 ＞ の前に

『バックパッカーズ読本』 旅行情報研究会/編 双葉社 290.9/ハ/14

目的地を観光するよりも、着くまでの行程を楽しむ。最低の費用で最高の旅にするための知識、ネットでは探せない旅の基本から最新情報まですべてがわかる！旅に出る予定のない方も出かけたくなる、そんな1冊です。

- それがおバックパッカーの旅。



＜ 次の人生へのお発 ＞ の前に

『人生の終(しま)いじたく』 なかむら 中村 メイコ/著 青春出版社 772.1/シ/10

世間でよく言われる「終活本」かと思っていると大違いの遺言状エッセイ。語り口が独特の軽妙さを持ちながら、最後でないと言えないようなひとことが込められていてほろりと来たり、あの著名人にこんな一面がと驚かされたり。また、人だけにとどまらず、醤油さしや紙の本、果ては肝臓への肝謝状まで書いてしまうところに著者の感性が光っています。

- だって気になるじゃない、死んだ後のこと。



＜ 社会へのお発 ＞ の前に

『東海のお職一芸 3』

オカダ ミノル/文 ちゃばた かすや 茶畑 和也/イラスト ゆいぼおと A602/ト/11-3

養蚕農家、尾張曲げわっぱ職人、和ろうそくの伝統産業からハーモニカ吹き、艶歌歌手など、100人に渡る昭和の職人の生きざまを、歯切れのいい文章とイラストで紹介。天職人たちの語りには方言なまりが入っていてあたたかく感じます。

- 職人の生きざまを語ろう。





新しい一歩を踏み出す方が多いこの時期。お世話になったあの人へ、大切な人へのエールとしてなど、出発を迎える場面で贈り物をお考えの方におすすめの本をご紹介します。

『東海手みやげ本』 ぴあ株式会社中部支局 596/ト/11 **東部**

スウィーツから惣菜まで、愛知・岐阜・三重の美味しい手みやげをぎゅっと集めた一冊。そのおいしさとともに作り手の思いや裏話も綴られているので、どんなお店か知った上で選びたいという人におすすめです。いずれも東海地区のお店なのでアクセスのしやすさが魅力。相手の喜ぶ顔を思い浮かべながらあれこれ考えるのもまた、楽しみですね。



✻ 『京都「お守り&数珠」手帖』 京都なでしこ倶楽部/編
PHP 研究所 387/キ/09 **中央**

人生の節目を迎える大切なあの人へ、心を込めたお守りはいかがでしょう。開運から縁結び、旅の安全、勝運などなど、さまざまな御利益を施す寺社仏閣がある京都。

この本には、そうした寺社仏閣のお守りや数珠などが、祈願の内容ごとに分かりやすく紹介されています。かわいいものやユニークなものも。京都に足を運んで大切な人のためにお守りを探したくなる一冊です。

図書館からのお知らせ

第 57 回 こどもの読書週間 (4/23~5/12)

標語 「本は キラキラ 万華鏡」

春日井市図書館での催し一覧

- ◇ あさひ文庫の読み聞かせ駅伝
- ◇ 年少版こどものとも 大集合!!
- ◇ 録音図書・点字図書の作成・対面読書体験
- ◇ 腹話術と楽しい手品
- ◇ クイズに挑戦
- ◇ 一日子ども司書
- ◇ ※詳細は 4 月 15 日号の広報でご確認ください。
- ◇ ブラックパネルシアターとお話会
- ◇ エプロンシアター
- ◇ 図書館探検

